

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-059538
 (43)Date of publication of application : 07.03.1995

(51)Int.CI.

A23L 1/30
A23L 1/00

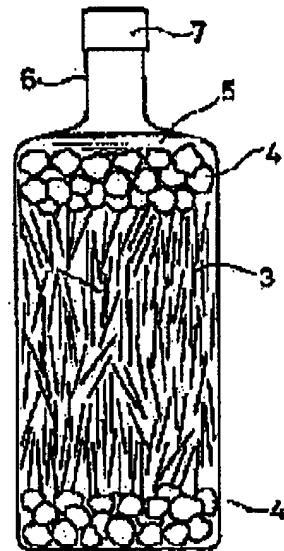
(21)Application number : 05-211634
 (22)Date of filing : 26.08.1993

(71)Applicant : KANDA MITSUYO
 (72)Inventor : KANDA MITSUYO

(54) HEALTHY FOOD

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a tasty healthy food having health promotive effect by using pine needles as raw material.
CONSTITUTION: The fresh needles of a red pine native to Nagano Prefecture, Japan, are washed and freed from shorter needles to prepare pine needles 3. Next, 100g of crystal sugar 4 is put into a washed and sterilized 1.8l glass bottle 6 followed by putting 250g of the pine needles 3 into the bottle and then additional 100g of crystal sugar 4 thereinto. Finally, 1.3l of purified water is put into the bottle, which is then closed with a cap 7. The glass bottle 6 is exposed to sunlight and left to stand 20 days. Then, the resultant supernatant is taken as healthy beverage consecutively three times a day each at 50cc.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]	27.08.1993
[Date of sending the examiner's decision of rejection]	03.12.1996
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]	
[Date of final disposal for application]	
[Patent number]	2733007
[Date of registration]	26.12.1997
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]	09-00322
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]	26.12.1996
[Date of extinction of right]	

03-09-04 16:47 宛先-KILPATRICK

Searching PAJ

般 送信元-MIYOSHI&MIYOSHI

T-395 P.15/21 U-432

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-59538

(43)公開日 平成7年(1995)3月7日

(51)Int.Cl.¹A 23 L 1/30
1/00

識別記号

B
J

序内整理番号

P 1

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数2 O.L (全3頁)

(21)出願番号

特願平5-211634

(22)出願日

平成5年(1993)8月26日

(71)出願人

593159038

神田 滉代

愛知県尾西市小信中島字郷中3162の1

(72)発明者

神田 滉代

愛知県尾西市小信中島字郷中3162の1

(74)代理人

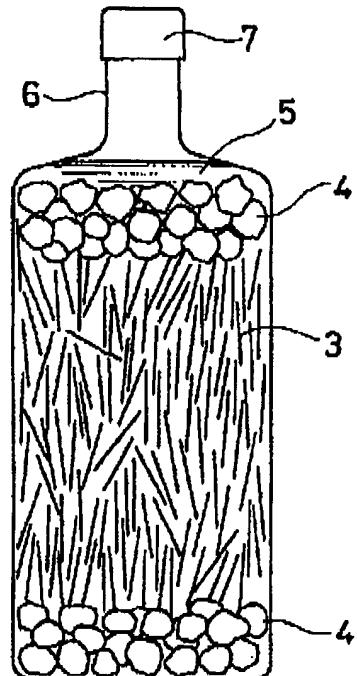
弁理士 岡田 英彦 (外3名)

(54)【発明の名称】 健康食品

(37)【要約】

【目的】 松葉を原料とし美味で健康増進効果を有する健康食品を提供する。

【構成】 長野県産の赤松の新鮮な青い葉を洗浄後、その短枝を除き、分離した葉3を用意する。洗浄殺菌した一升びん6にまず氷砂糖4を100gを入れ、その上に分離した松葉3を250g入れる。この上にさらに氷砂糖4を100gを入れ、次に精製水5を1.3リットル入れ一升びんの詰7をする。この一升びん6を日光の当たる場所に20時間放置後、その上澄み液を健康飲料として一回につき50ccを一日三回連続飲用する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 糖分、水及び生の松葉を有する原材料を醸酵した液体を含むことを特徴とする健康食品。

【請求項2】 糖分、水及び生の松葉を有する原材料を醸酵した液体を含むことを特徴とする健康飲料。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は糖分と水と松葉の醸酵液を原料とした健康食品に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、松の葉は不味い為、食用とはされず、その人体に対する効能も知られていなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし本発明者は長年の研究から松の葉を用いた美味しい食品を創作し、さらにこの食品が健康増進効果を有することを発見した。そこで本発明の課題は松の葉を用いた美味しい健康食品及び健康飲料を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 前記課題を解決する為、本発明の健康食品は糖分、水及び生の松葉を有する原材料を醸酵した液体を含むことを特徴とする。そして本発明の健康飲料は糖分、水及び生の松葉を有する原材料を醸酵した液体を含むことを特徴とする。

【0005】 前記糖分としては例えば氷砂糖、砂糖、はちみつ等、醸酵を行うことのできるものであれば良く、糖分の使用量も醸酵が行われる量であればよい。前記水としては食用とするのに適した水、例えば精製水を用いる。

【0006】 そして前記生の松葉とは松の木から採集後、あまり時間が経過していない新鮮な青々とした葉を使用し、枯れた茶色や黄色の葉は用いないことを意味する。木から採集後の松葉を直ぐに用いない場合には松葉をポリ袋等の密閉性の高い容器内に入れて封をし、冷蔵庫内にて保管すると良い。使用する松葉としては赤松及び黒松等の種々の松の葉を用いることができるが、寒い地方（例えば長野県又は岐阜県）産の赤松の葉を用いることより美味で健康に良い健康食品及び健康飲料を得ることができる。

【0007】 松の葉と呼ばれている部分は短枝の鱗片が発達してきたものであり、松の葉は複数の葉（通常は二本）の本が短枝（又は葉腋）と呼ばれる部分でつながっている。本発明では複数本の葉がつながったままの形で松葉を用いてもよいが、短枝を除き、葉を各一本に分けて使用するとより美味なまたより健康に良い食品を得ることができる。これは短枝を除き、葉を各一本に分けることにより短枝の持つ苦味を除くことができ、さらに葉のエキスが水に抽出され易くなる為と考えられる。なお、短枝を除去した松の葉は、抽出性を高めるために適当な長さに裁断して用いてもよい。

【0008】 前記醸酵は原料の糖分、水及び松葉を混合し放置すると自然に生じる醸酵を利用してもよいが、既知の種々の人为的方法により醸酵を生じさせてもよく、醸酵方法としては任意の方法を探ることができる。自然に生じる醸酵を利用する場合には季節にもよるが日光の当たる場所では20日前後、日陰では1カ月前後にて、醸酵が終了する。なお醸酵が終了したことは醸酵中、発泡が生じていたものがもはや発泡を生じなくなつた時をもって醸酵が終了したものとみなした。

【0009】 また醸酵の進行の程度は任意であるが醸酵がより進んだもの又は醸酵が終了したものの方がより美味であり健康食品及び健康飲料としての効果も大きい。

【0010】 前記醸酵した液体は美味であり、この液体をそのまま健康飲料として飲用してもよいが、さらに他の既知の種々の加工手段を施して健康食品としてもよい。例えば粉末化して仙食品に混入し、パン類や菓子類として食してもよいし、寒天、ゼラチンを用いてゼリー状にして食してもよい。又は凍らせてシャーベットとして食してもよく、アイスクリームに加工して食してもよい。この場合の本例の健康食品は冷蔵されるので、長期に渡り良好に品質が保持される。

【0011】

【作用】 本例の健康食品及び健康飲料においては糖分、水及び生の松葉を有する原材料の醸酵物の作用により人体に対する健康増進効果が發揮され、さらには通常までは松葉が美味しい食品及び飲料とされる。

【0012】

【実施例】 次に、本発明の実施例として健康飲料の場合を図1及び図2に基づいて説明する。長野県又は岐阜県産の赤松の新鮮な生の青い松葉1を洗浄後、二本の葉の元が連続している部分に存在する短枝2を除去し、分離した葉3、3に分ける。洗浄殺菌した一升びん6の底に氷砂糖4を100g入れ、その上に分離した松葉3を260g入れる。さらに氷砂糖4の100gを分離した葉3の上に置き、次に精製水5を1.3リットル入れ、一升びんの蓋7をする。この一升びん6は日光のある場所に置くと経時と共に醸酵が進み発泡が生ずるが20日後には発泡が停止し、醸酵がほぼ終了する。

【0013】 この醸酵終了後は一升びん6の中の液体のみを静かに他の容器に移し入れ、本例の健康飲料を得た。この健康飲料は白色であり、味は清涼感を有し大変美味しい。本例の健康飲料は、冷蔵庫に保管するのが品質保持の為にはより好ましい。

【0014】 この健康飲料の飲用量は特に上限はないが、例えば朝晩の一日三回、一回につき約50ccを連続飲用することにより苦悶症、アレルギー性鼻炎、脳梗塞、脳血栓、便秘、高血圧、口内炎、高コレステロール血症、ぜん息、かぜ、扁桃腺、胃潰瘍、頭痛、了供の夜尿症及び心臓障害による勤僻に対して効果があった。

また利尿、発汗作用も認められた。さらに詳しくは最高

(3)

特開平7-59538

3

血圧 168 の成人が一ヵ月間本例の健康飲料を前記量連続飲用することにより、最高血圧 130 まで血圧が降下した。扁桃腺の熱には即効性があり 50cc 飲用後 2 時間で熱が下がった。頭痛に対する鎮痛効果も即効性がある。また胃潰瘍の患者は本例の健康飲料の飲用により食欲が増進する効果が認められた。またぜん息体质の人は本例の健康飲料を前記量で延べ 2 升 (3.6 リットル) 飲用することにより体质が改善され、ぜん息が治癒した。その他、ぼうこう結石患者でビールが飲めない人も本例の健康飲料を多量飲用するとその利尿作用により、石が排出された。又、ぼうこう炎の患者も本例の健康飲料計 5 合を 2 日で飲むことにより、痛みが消えた。そして腎臓結石の患者も、本例の健康飲料を多量飲用すると、その利尿作用により顔のはれが消失した。以上の効果から、本例の健康飲料によると新陳代謝が良好とさ

4

れ、体から毒素が排出されるため体质が改善されると考えられる。そして本例の健康飲料は健康人が常用することにより健康維持及び増進の効果がある。

【0015】

【発明の効果】 本発明の健康食品及び健康飲料は美味であり、さらには健康増進効果を有している。

【図面の簡単な説明】

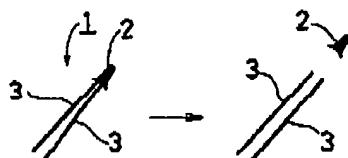
【図 1】 実施例で用いる松葉の説明図である。

【図 2】 実施例の健康飲料の製造工程の説明図である。

【符号の説明】

- 1 松葉
- 2 短枝
- 3 分離した葉
- 4 氷砂糖
- 5 精製水

【図 1】



【図 2】

